

ID

氏名

年齢

科名

病棟

PTX weekly(6投2休) +Cetuximab 療法

8 週毎 コース予定

疾患名 頭頸部癌

主治医

指導医

HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

		day1	8	15	22	29	36	43	50
アービタックス(セツキシマブ)		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
初回投与	400 mg/m ²								
2回目以降	250 mg/m ²								
パクリタキセル	100 mg/m ²	↓	↓	↓	↓	↓	↓	休	休

【注意】*パクリタキセルはインラインフィルター(0.2 又は 0.22 ミクロン)を使用し、DHEP フリー点滴セットを使用すること。

*アルコール過敏 有・無

*セツキシマブは 10 mg/分以下の速度で投与すること。

☆通常量より減量する際の理由

(レジメン)

<Cetuximab 初回投与 day1 のみ>

① 生食 500 mL にて血管確保

維持(20 mL/時間)

② レスタミン(10 mg) 5 錠 内服

ファモチジン注 20 mg

側管静注

デキサメタゾン注 6.6 mg(2 mL) + 生食 20 mL

側管静注

☆30 分後より

③ アービタックス + 生食 適量(全量 500 mL)

点滴静注 120 分(250 mL/時間)

*生食 500 mL/袋より、アービタックスの投与量に相当する容量を抜き取り、
必要量のアービタックスを生食のバッグに注入し、全量 500 mL にする

◎生食でフラッシュして 1 時間経過観察

- ④ パクリタキセル + 5%糖液 250 mL 点滴静注 60分(250 mL/時間)
◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

<Cetuximab 2回目以降>

day1,8,15,22,29,36

- ① 生食 500 mL で血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② レスタミン(10 mg) 5錠 内服
ファモチジン注 20 mL 側管静注
デキサメタゾン注 6.6 mg(2 mL) + 生食 20 mL 側管静注
☆30分後より
- ③ アービタックス + 生食 適量(全量 250 mL) 点滴静注 60分(250 mL/時間)
*生食 250 mL/袋より、アービタックスの投与量に相当する容量を抜き取り、
必要量のアービタックスを生食のバッグに注入し、全量 250 mL にする
◎生食でフラッシュして1時間経過観察
- ④ パクリタキセル + 5%糖液 250 mL 点滴静注 60分(250 mL/時間)
◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

day43,50

- ① 生食 500 mL で血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② ポララミン(2 mg) _____錠 内服
デキサメタゾン注 6.6mg(2 mL) + 生食 20 mL 側管静注
☆30分後より
- ③ アービタックス + 生食 適量(全量 250 mL) 点滴静注 60分(250 mL/時間)
*生食 250 mL/袋より、アービタックスの投与量に相当する容量を抜き取り、
必要量のアービタックスを生食の輸液バッグに注入し、全量 250 mL にする
◎生食でフラッシュして1時間経過観察

PTX weekly(6投2休)+Cetuximab 療法

	コース							
	day1	day8	day15	day22	day29	day36	day43	day50
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
アービタックス 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
パクリタキセル 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
確認								

	コース							
	day1	day8	day15	day22	day29	day36	day43	day50
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
アービタックス 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
パクリタキセル 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
確認								

	コース							
	day1	day8	day15	day22	day29	day36	day43	day50
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
アービタックス 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
パクリタキセル 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
確認								